

音楽と私

ラルゴ室内合奏団（旧北の杜シニアアンサンブル） 曾根 文子

ヴァイオリンは6歳から始めました。低学年のころは、鈴木メソッドの先生についておりましたが、高校生になってから芸大のヴァイオリンの教授に再度基本から教えていただきましたが、この教授につきまされたのは決して芸大受験のためではなく、単なる趣味のためでした。親の方針がそうだったからです。



この年齢になって振り返ってみますと、プロのヴァイオリニストになるような音楽的才能があったわけではないので、音楽学校に行かなくてよかったと思っております。

結婚して子育ての間、しばらくブランクがありましたが、又ヴァイオリンを始めたいと思い、オーケストラに所属しました。ここで、芹澤氏と一緒に演奏することになりました。オーケストラのお仲間とはNHKに出させていただいたり、プロの演奏家に誘っていただいて、ボストンの教会でソロ演奏をさせていただいたり、昨年は全日本シニアアンサンブル連盟の皆様と、ハワイへ演奏旅行に行きましたりと、貴重な経験をさせていただいております。

最近の私の生活は、音楽三昧で、これが生きがいとなっております。ヴァイオリンが弾けなくなったら、何をすればよいのか、これが私の今後の課題です。

理事退任に当たって

萩原充行（顧問）

先年度を以って連盟理事（副理事長兼国際/広報委員長）を退任させていただきました。ここ数年体調悪化の妻の在宅介護で、いわば近年の社会現象の「介護離職」を余儀なくされました。お互いシニア世代では誰も避けられない事態で、岡村理事長以下のご理解をいただき、今後は憚りながら顧問として可能な限りシニアアンサンブル活動に関わらせていただく次第になりました。

思えば全シ連での活動は「団員主体の組織運営」を旗印に千葉SEの初期の組織化や市原・四街道・習志野でのSEの新規立ち上げ、国際ではハワイでの交流事業、また広報では公式ウェブサイトの開設などを連盟トップのご指導と同志のご協力でご実現することができ、次の世代に引き継ぐことができました。お蔭でこの間の充実した年月をありがたく思います。

今後のことはまったく予測ができませんが、「ご縁は終生」がわたしの人生指針。微力ながらみなさんのお役に立てる機会があれば嬉しく、どうぞお忘れなきようによろしく願いいたします。



この度の熊本地震で亡くなられたかた、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
私たちは積極的な義援金（募金）で助け合いましょう！！（最寄りの窓口でお願いします）